

# ファンクション〈線種 TYPE〉 操作説明

2020年6月版

# ファンクション<線種 TYPE>とは

## 概略説明

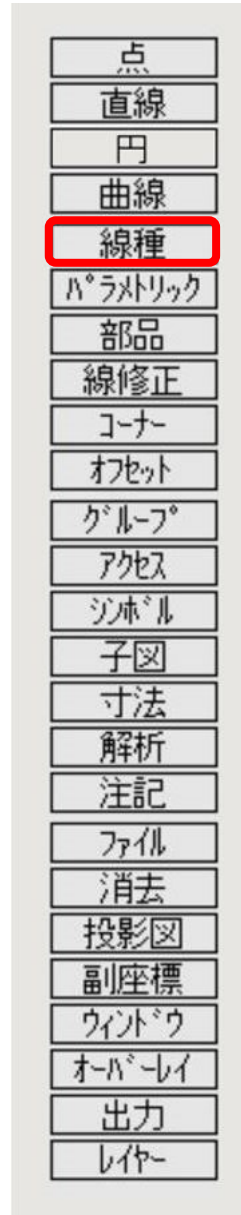
ファンクション<線種 TYPE>は、要素の線種を変更したり、要素に線幅や色を付ける機能です。

要素の線種や線幅、色を変えることで、製品の形や姿勢の理解を助けることができます。また、モード設定することにより、作成する要素の線種や線幅、色をあらかじめ指定して作図することもできます。

閉じた図形の内側に、パターン（エリアフィル）を作成することもできます。

## この項で学習すること

- ・ 既存要素の線種を変更する
- ・ 既存要素の線幅を変更する
- ・ 既存要素の色を変更する
- ・ パターン（エリアフィル）の作成



## 既存の要素の線種を変更します

1. 図面「TYPE\_BA20」を開く
2. <ウィンドウ>【1】 [図1]
3. <線種>【線種1】

線種1ダイアログが表示されます。

4. 線種1ダイアログから“破線（細）”をSEL [図2]
5. C1（内側の円）をSEL

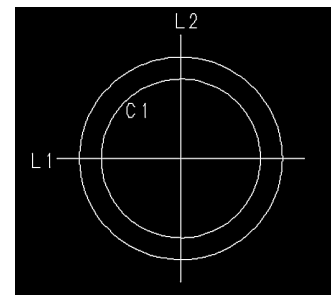
C1が指定した線種（破線）に変更されます。 [図3]

6. 線種1ダイアログから“一点鎖線（細）”をSEL [図4]
7. L1をSEL
8. L2をSEL

L1とL2が指定した線種（一点鎖線）に変更されます。 [図5]

9. 【↑】

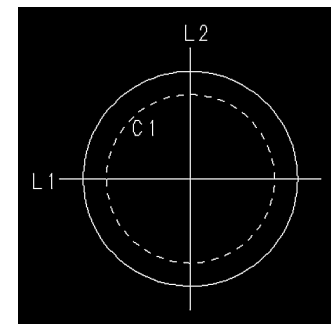
[図1]



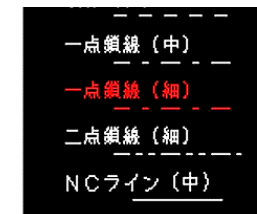
[図2]



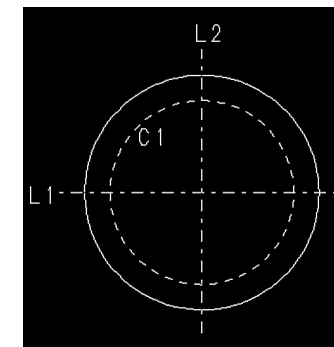
[図3]



[図4]



[図5]



# 既存要素の線幅の変更

## 既存の要素の線幅を変更します

1. <ウィンドウ> 【2】 [図6]
2. <線種> 【線幅】 【リスト】

線幅ダイアログが表示されます。

3. 線幅ダイアログから“6.000000”をSEL [図7]

4. L1をSEL

L1が指定した線幅に変更されます。 [図8]

5. 線幅として、“1.5”をキーイン

線幅リストに線幅“1.5”が追加されます。 [図9]

6. L2をSEL

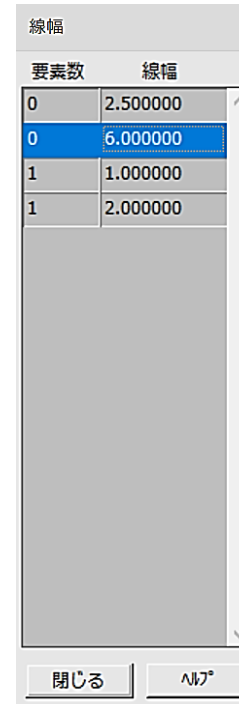
L2が追加した線幅に変更されます。 [図10]

7. 【↑】

[図6]



[図7]



[図8]



[図9]



[図10]



## 既存の要素の色を変更します

1. <ウィンドウ> 【3】 [図11]
2. <線種> 【カラー】 【パレット】

カラーパレットが表示されます。 [図12]

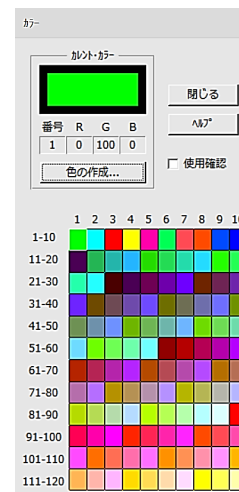
3. パレット上の2番の色をSEL (1-10の行、2の列) [図13]
4. L1をSEL [図11]

L1が色番号2番の色に変更されます。 [図14]

[図11]



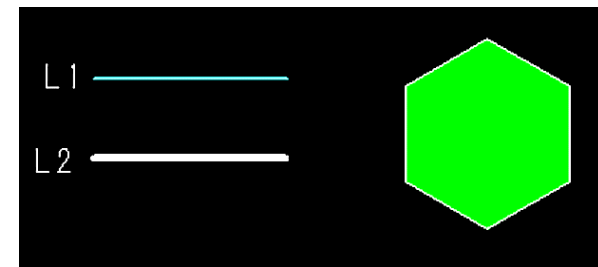
[図12]



[図13]



[図14]



# 既存要素の色の変更

5.パレット上の4番の色をSEL (1-10の行、4の列) [図15]

6. L2をSEL

L2が色番号4番の色に変更されます。 [図16]

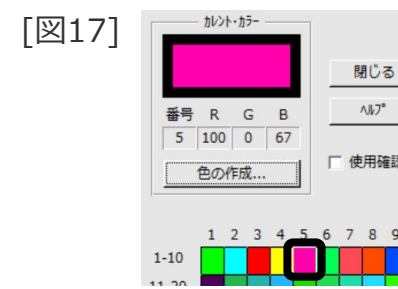
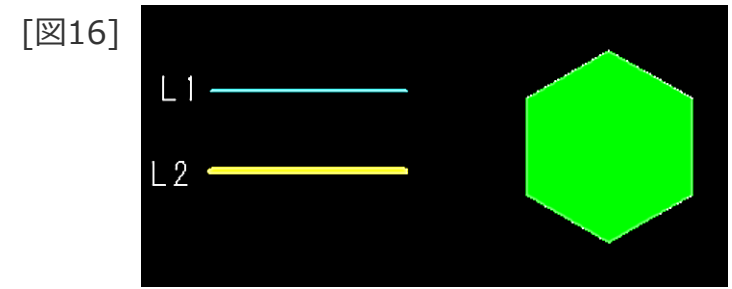
7. 色番号として、“5”をキーイン

カラーパレットのカレント・カラーが色番号5番に変わります。 [図17]

8. 緑色の六角形内部をSEL

六角形内部の色が色番号5番の色に変更されます。 [図18]

9. 【↑】



## 選択した領域内にGRID模様を作成します

1. <ウィンドウ> 【4】 [図19]
2. <線種> 【パターン】 【作成】 「◎要素選択」
3. C1をSEL
4. 【閉】
5. 【パターン】

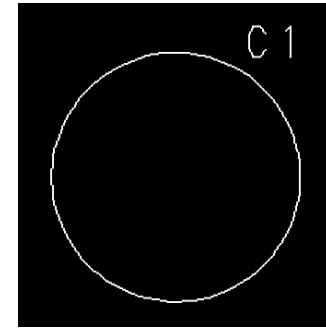
模様を選択ダイアログが表示されます。 [図20]

6. 模様を選択ダイアログで「GRID」をSEL [図21]
7. Y/N (模様を承認)

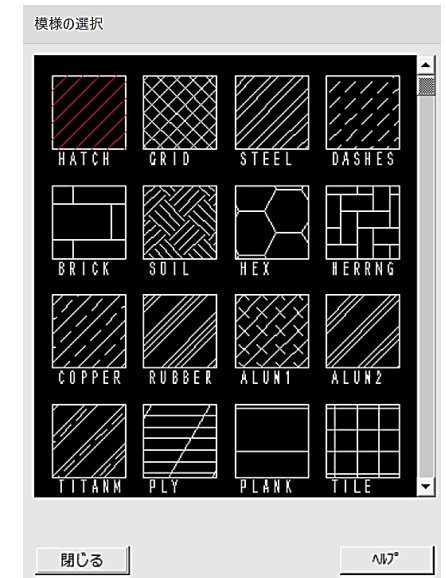
円内部にGRIDのパターンが作成されます。 [図22]

8. 【↑】

[図19]



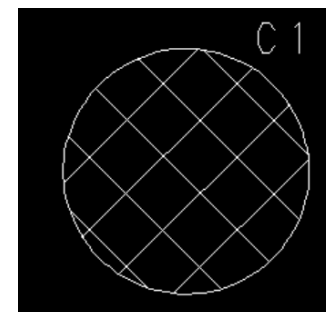
[図20]



[図21]



[図22]



## 指定した要素内の閉領域にハッチングを作成します

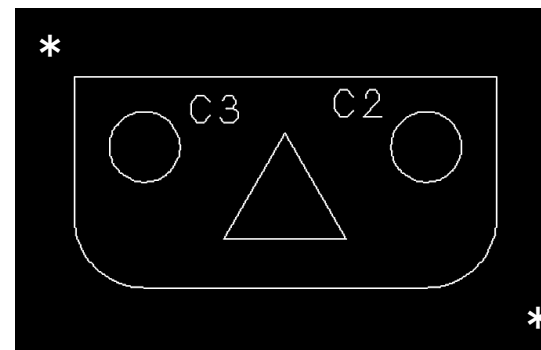
1. <ウィンドウ> 【5】 [図23]
2. <グループ> 【グループ化1】
3. Y/N (矩形領域)
4. 対象図形を囲むように、対角の2点 (\* 付近) をIND
5. 【枠内】
6. <線種> 【パターン】 【作成】 「◎要素選択」
7. Y/N (グループ処理)
8. 【パターン】

模様を選択ダイアログが表示されます。

9. 模様を選択ダイアログで「HATCH」をSEL [図24]
10. Y/N (模様を承認)
11. 【↑】

円と三角形と注記以外の閉領域にハッチングが作成されます。 [図25]

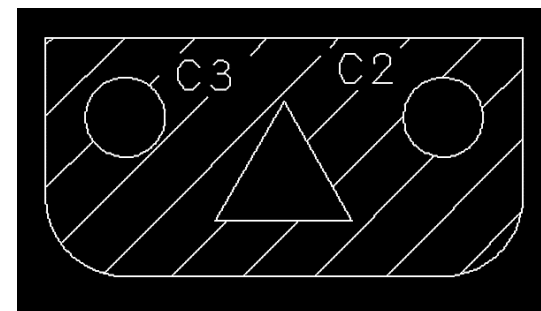
[図23]



[図24]



[図25]





# パターンの変更

## 指定した領域内のパターン（エリアフィル）を変更します

1. <ウィンドウ> 【6】 [図26]
2. <線種> 【パターン】 【変更】
3. C4のGRIDの模様をSEL
4. 【パターン】

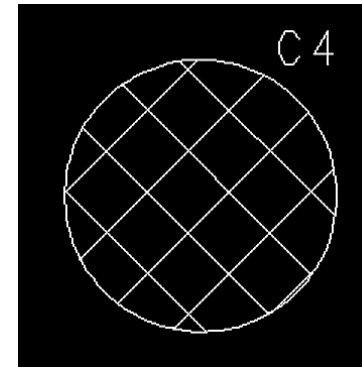
模様の選択ダイアログが表示されます。

5. 模様の選択ウィンドウで、HEXの模様をSEL [図27]
6. HEXの直径として、“8”をキーイン
7. Y/N（模様を承認）

円内部の模様が直径 8 mmのHEXに変更されます。 [図28]

8. 【↑】

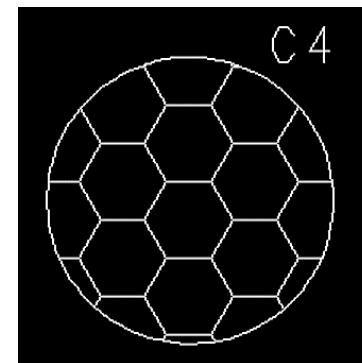
[図26]



[図27]



[図28]





※当資料内の文章・画像・商標等（以下、「データ」）に関する著作権とその他の権利は、弊社または原作者、その他の権利者のものです。企業等が非営利目的で使用する場合、個人的な使用を目的とする場合、その他著作権法により認められている場合を除き、データは弊社、原作者、その他の権利者の許諾なく使用することはできません。

※データ等のご利用またはご利用できなかったことによって生じた損害については、弊社は一切の責任を負わないものとし、いかなる損害も補償をいたしません。

※掲載されている内容は2020年6月時点のものです。内容は、事前の予告なしに変更することがあります。

MICRO CADAM、MICRO CADAM Helix は、株式会社CAD SOLUTIONSの商標です。  
他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。